

令和6年度 部局経営目標

年度	令和6年度	作成日	令和6年4月1日
部局名	消防本部	部局長名	大美 勝
(1) 部局の役割・使命 (ミッション)			
【No.11：住み続けられるまちづくりを】			
1. 消防施設の充実強化 消防施設等の充実強化を図ります。			
2. 消防体制の整備 火災・救急をはじめとする各種災害に迅速かつ的確に対応できる体制づくりを進めます。			
3. 予防・査察の実施 市民が安心して暮らせるまちづくりを目的に、予防・査察活動の実施に努めます。			
(2) 部局の重点施策			
① 地域みんなで子育てを応援する「こどもはぐくみ応援プロジェクト」 ③ 市民とともにつくる持続可能な地域づくり	(1) 幼少期からの防災教育に取り組みます。		
② 自分らしく暮らせる「共生の地域社会まにわ」の実	(1) 関係機関（消防団）との連携強化、協働推進を図ります。		
③ 市民とともにつくる持続可能な地域づくり	(1) バイスタンダーの育成の取り組みを行います。		
(3) 事業成果目標			指標名及び目標値
●人口減少抑制対策 救命講習の普及（再掲） ・救命率の向上を目指し、救命講習を開催することにより、一人でも多くの市民が応急手当を施せるよう普及推進を図ります。 ・救命にはバイスタンダーによる応急手当が必要不可欠であることから、目撃のある心原性心肺停止症例において一般市民等による心肺蘇生実施率が60%以上となるよう普及推進を図るため、M I T等のメディア媒体を活用するなど、適切な啓発を行います。 【参考 55%（真庭消防署管内令和5年実績）、57.5%（全国令和3年実績）】			指標：①救命講習の回数 ②受講者数 ③心肺蘇生実施率 目標値：①100回 ②2,500人③60% （令和5年度実績値： ①91回 ②2,431人 ③55%）
1-① 消防施設等の充実強化 ・蒜山分署庁舎建設に向けて、出動時間の短縮を図れるよう整備を進め、消防防災拠点施設としての機能充実を図っていきます。			指標：出動時間(出動指令確受～出動まで) 目標値：1分20秒 (蒜山分署の値) (令和5年度実績値： 1分42秒(蒜山分署の値))

<p>2-① 消防力・防災力の強化</p> <p>・方面隊と協力し合同消防訓練を実施することによって連携を強化し、消防力・防災力の強化に努めます。</p>	<p>指標:方面隊との合同訓練</p> <p>目標値:10回</p> <p>(令和5年度実績値:10回)</p>
<p>2-② まちかど救急ステーション事業</p> <p>・現在、A E Dを設置している198施設から同意を得て、まちかど救急ステーション事業に協力を得ているところであるが、更に2施設からの同意を目指します。</p>	<p>指標:同意施設</p> <p>目標値:200施設</p> <p>(令和5年度実績値:198施設)</p>
<p>2-③ 救命講習の普及</p> <p>・救命率の向上を目指し、救命講習を開催することにより、一人でも多くの市民が応急手当を施せるよう普及推進を図ります。</p> <p>・救命にはバイスタンダーによる応急手当が必要不可欠であることから、目撃のある心原性心肺停止症例において一般市民等による心肺蘇生実施率が60%以上となるよう普及推進を図るため、M I T等のメディア媒体を活用するなど、適切な啓発を行います。</p> <p>【参考 55%（真庭消防署管内令和5年実績）、57.5%（全国令和3年実績）】</p>	<p>指標:①救命講習の回数 ②受講者数 ③心肺蘇生実施率</p> <p>目標値:①100回 ②2,500人③60%</p> <p>(令和5年度実績値:①191回 ②2,431人 ③55%)</p>
<p>2-④ 市民が安心して暮らせるまちづくり</p> <p>・災害に強いまちづくりを構築するため、地域住民に対し、関係団体と連携を取り、防災に関する訓練等を実施します。</p> <p>・市民にとって身近で信頼できる消防署という理解を得るため、市民との交流事業とSNSを活用した広報活動を実施します。</p>	<p>指標:①訓練会等の回数 ②受講者数 ③SNS投稿回数</p> <p>目標:①15回 ②300人 ③50回</p> <p>(令和5年度実績値:①11回 ②237人 ③41回)</p>

<p>3-①防火・減災に対する普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災件数の減少を目指し、広報事業・防火指導を積極的に行います。 ・幼少期からの防災教育は、自らの身の安全を確保できるだけでなく、将来の地域防災を担う人材育成にも効果的であることから、こども消防士育成プロジェクト（園児）及び子供防火管理者講習会（児童）を各こども園、小学校にて開催し、消防防災活動への知識と理解を育む取組を行います。 	<p>指標: ①火災件数 ②広報事業開催数 ③防災教育実施回数</p>
	<p>目標値:①29件未満・過去平均 ②3回 ③15回</p>
	<p>指標変更 (令和5年度実績値: ①26件 ②3回 ③14回)</p>